

【公益目的事業1】 就農支援事業

「セミナー」「営農支援情報提供」「海外団体との交流・提携」を通じて以下の事業を実施予定である。

(1) セミナー

教育部門と各部門との連携の上で、セミナー・ワークショップを開催する。

2017年は以下の主催事業を実施予定である。

① 農業者向けセミナー(持続可能な農業技術部門)

<日程> 2月実施予定

<会場> 愛農学園

「農業で暮らす」ことをテーマに畑俊八さん・久松達央さんを講師に招く。農業技術の基礎を積み上げることの重要性を学ぶ。経営面においては販売戦略や管理業務の側面について、実践者を通じて学ぶ。

② あいのう農産加工集中コース(持続可能な生活部門)

<日程> 12月実施予定

<会場> 愛農学園

「造る・食べる・育てる楽しみを味わいつくす3日間」をテーマに米麴や醤油麴、味噌、鶏の解体などの農産加工食品について座学と実習の両面から学ぶ。

③ CSA講演会(アボドカシー部門)

<日程> 11月実施予定

<会場> 愛農学園

食べ物の売買を通じて、人と人、人と地域をつなぐ農業「CSA(Community Supported Agriculture)」について学ぶ。単なる農業の売買システムとしてではなく、経済の仕組みそのもののあり方から考え、参加者との双方向のやり取りを通じ、より広い視点、深い視座から学ぶ場とする。

④ あいのうこども自然学校(愛農高校連携部門)

<日程> 2017年7月実施予定

<会場> 愛農学園

<参加者> : 20名(小学校高学年)

(2) 営農支援情報提供

機関誌による情報提供を継続する一方で、ホームページやSNS等、Web媒体による情報提供のあり方についても具体的に推進する。

① 機関誌『愛農』（広報・会員部門）

主催セミナーの実施報告や開催案内、持続可能な農業や暮らしの実践者の紹介、過疎に対して具体的な取り組みを行っている地域の紹介等を通じて情報提供を行う。

(3) 海外団体との交流および提携事業

① A F A (Asian Farmers' Association for Sustainable Rural Development)

A F A理事会および経営に関わる会議、A F Aに関わる国際会議への出席(村上会長)、若手農民部会責任者としての活動(飯尾専務理事)を中心に本年も継続して活動に取り組む。

② 台湾インターンシップ実習生受け入れ

台湾国立ピントン科学技術大学からの研修生受け入れ。愛農学園や農家での座学・実習を通じて日本の有機農業について学んでいただく。現時点で2017年度の開催は未定。

③ 韓日平和交流会

韓国正農会との交流事業。本年度は11月頃に長野県南佐久郡南牧村での開催を予定

【公益目的事業2】 農産物及び加工食品等の認証に関する事業

(1) 認証事業

本年度も継続して認証事業に取り組む。過去に参加した未申請事業者へのフォローを行う等、収益の柱として講習会・新規事業者の拡大に積極的に取り組む。

<具体的な取り組み>

- ・新規認定審査、年次確認調査：都度
- ・有機認定講習会：年4回開催予定
- ・内部監査：年1回実施予定
- ・認定業務者研修：8月実施予定
- ・判定会：週1回を基本として原則毎週開催
- ・有機JAS登録認定機関協議会による公平性委員会参加
- ・過去に講習会に参加した事業者(未申請者)へのフォローアップ

【管理部門】

毎月実施される総務部会を中心に、法人や事務局の運営について継続して改善を行う。本年度の重点取組項目としては以下の通りである。

(1) 会員拡大

会員の増加を図るための具体的な取り組みを推進する。会員向けサービスの開発や将来会員になる顧客増の明確化など、新規会員・既存会員双方にとって価値のある事業運営を行う。

(2) 法人・事務局運営改善

2016年に実施された公益法人立入検査の結果も踏まえ、定款、規程類の見直しや組織としての運営体制強化、最適化を図る。併せて事務局業務の効率化を進め、少人数での運営が無理なく遂行できる体制を整備する。

(3) 財務・経理

昨年度より導入した新たな会計システムに基づく採算管理を継続して行い、採算意識を持った事業運営を行う。また、寄付金収入の拡大を図るため特定公益増進法人証明書の取得を目指す。